

算数

第3学年

育成を目指す資質・能力

【思考力】【主体性】【自己肯定感】

## 「広島大学附属小学校3年生との交流会を成功させよう」

～あまりのあるわり算～

### 【単元の概要】

鹿川小学校では、広島大学附属小学校3年生と交流会を行っています。広島大学附属小学校3年生から、交流会を楽しみにしているお手紙を事前にもらうように設定し、交流会への期待や意欲を高めて単元に入りました。海辺の学習で想定される課題や仲良くなるためのグループ分け等、自分の課題として考える必要性を感じながら、教科書であまりのあるわり算の計算の仕方を学んでいきます。単元のまとめでは、学んだことを生かしながら、実際の交流会でのグループ分けを等分除と包含除で考え、あまりとなる数について実際の場面をイメージさせながらどうすればよいかを考えていきます。

### ◆単元の目標

除法の意味について理解し、それを用いることができる。

### ◆単元の計画（全7時間）

#### 【課題の設定、課題の解決（4時間）】

広島大学附属小学校3年生と、海辺の学習をしたり給食を食べたりする交流会があることを聞き、想定される課題についての解決方法を考えることで、学習に対する関心をもつ。

#### ＜解決方法を考える＞

・海辺の学習で、海の生き物を採りに行く設定の問題を解く。

（カニ20匹を4匹ずつバケツに入れる場合とヤドカリ23匹を4匹ずつバケツに入れる場合について、それぞれバケツがいくつになるか考える。あまりのある除法の立式と答えの求め方を理解する。）

・わる数とそのあまりの数を比べ、あまりの数の範囲を考える。

（あまりの数は、除数より小さい数であることを確かめる。除法の計算の確かめの仕方を知る。）

・等分除、包含除であまりのある様々な文章題を解く。

（絵と問題の文例を見ながら、35個の食べ物を4皿に分けるなど、あまりのある除法の問題を作る。）

#### 【まとめ・表現（1時間）】

・広島大学附属小学校との交流会でのグループの人数分けを考える問題文を把握し、条件に応じて除法を適切に活用して解く。

→鹿川小の24人を3人ずつに分けるグループをまず作り（等分除）、そのグループに広島大学附属小学校65人を分ける（包含除）という課題について考える。あまりとなる1人をどうするか考える。

#### 【新たな課題の設定、課題の解決（2時間）】

・学習内容を更に発展させ、広島大学附属小学校との交流会での男女の並び方について、先にある順番を考える際にも、並び方の規則性を基に除法を活用して解決できることから、除法のよさに気付く。

（男女男女男男女男女男男・・・の20番目、55番目の順番は何になるか考える。）

## その他の主な開発単元

教科等	学年	単元・題材名
算数	1	「ひきざんはかせになろう」～ひきざん～
	2	「形マスターになろう」～三角形と四角形～
	2	「めざせステージクリア ひき算のひっ算の仕方を考えよう」～ひき算のひっ算～
	3	「筆算なんてこわくない 学級会計もお任せ！」～たし算とひき算～
	4	「チョコレートの大きさを調べよう」～面積～
	5	「かたまりの大きさの表し方を調べよう」～体積～
	5	「不思議な数をさがそう」～倍数と約数～
	6	「ハンバーガーのセットメニューから考えよう」～ならべ方と組み合わせ方～
総合的な学習の時間	6	「修学旅行を攻略だ！」～ならべ方と組み合わせ方～
	3	「大豆はかせになろう」
	4	「わくわくえたじまん見つけ隊・広め隊」
	5	「食を見つめよう わくわく給食大作戦」
	6	「キャッチ ザ ドリーム」